

## 株式会社安達製作所

### 蓄積されたノウハウとスキルで 製造困難な製品にも挑む

昭和52年、本市で初めてのFRP製品製造加工の会社として石坂地内で創業した安達製作所。平成2年、工場の整備にあわせて蓮沼地内に移転し、現在に至ります。

「FRP」とは、ガラス繊維にポリエステル樹脂を混合させ、強度をアップさせた複合材料のこと。強化プラスチックとも言われています。その特徴は、プラスチックならではの軽量性と、成形の自由度が高いこと。それに加えて、耐熱性や耐衝撃性、耐水性、耐薬品性、電気絶縁性に優れている点、また金属と比べても強度があり、錆びることもなく、腐食しにくい点などが挙げられています。

取材中、「これまでどんな製品をつくってきたのですか」と尋ねると、事務所の書棚からはたくさんのお写真が…。お風呂の浴槽、ボートの船底、カプセルホテルのユニットをはじめ、大谷中学校などメルヘン建築物に見られる、とんがり屋根、石動曳山祭の山車の最上部に飾られている鳳凰などの、銚留（ほごどめ）、東京デイズニード・ワールドバザールに立てられた印象的な、柱、かつてリニア宮崎実験線（昭和52年から平成8年まで宮崎県にて実験）で実際に使用されたリニアモーターカーの運転席を含む、先端部分など。また最近は、山手線や総武線など都内を走る電車の運転席、いわゆる「電車の顔」に当たる部分もつくっているんですよと教えてくれました。

強化プラスチックの成型と聞き、てっきりプレス機などの機械でつくっているものと思っていました。が、1ミリにも満たない樹脂プラスチックを、3〜5ミリの厚さになるまで手作業で成形型などに



貼り重ねて成形しているのだそう。「原油由来の樹脂を使うので、手や服に付くとなかなか取れないんですよ」と笑いながら、「ものづくりが好きなお人には魅力的な職場だと思えます」とも語ってくれました。ものづくりに興味があるあなた、チャレンジしてみたいいかがですか。

#### 働く人に聞きました



まさみち 正道さん  
（令和元年入社）  
あらかき 荒木さん  
（令和元年入社）

製品の最終検査と品質管理報告書の作成を主に担当しています。異業種からの転職で製造業は初めてでしたが、年齢や経験に関わらず温かく迎え入れてくれるアットホームで働きやすい職場です。特殊な製品を手掛けることが多く、大手他社でさじを投げられた案件が、弊社の名前を冠した製品として出荷されていくさまには何とも感慨深い達成感があります。

#### うちの会社の強み

その1 半世紀にわたり蓄積されたノウハウとスキルで特殊製品の製造が大得意  
その2 20代から80代まで幅広い世代が活躍できる長く働ける環境

#### 事業所データ

事業所名	株式会社安達製作所
設立	昭和52年
業種	FRP製品製造加工
住所	蓮沼433
電話	(67)0487